

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	総事業費	850,667		事業完了日	平成23年3月16日
				交付金額	283,555
	整備対象地域	南国市北部・南部			
	事業の内容				
<p>南国市中心部では、民間通信事業者により、超高速ブロードバンドが提供されていたが、周辺地域は採算性から、ブロードバンドサービスに必要な設備投資が望めない状況で、中心市街地とそれ以外の地域の情報格差が拡大していた。</p> <p>南国市では、市内の情報通信格差を是正するため、市がFTTHによる光ファイバ網を整備、サービス事業者の選定を行った結果、西日本電信電話株式会社高知支店へIRU契約により施設を貸し出し、当該地区において、光インターネットサービスを開始した。光インターネットサービスについては、IRU事業者が展開しているサービスが提供されている。また、南国市北部山間地域の一部は、光ケーブルの敷設が困難であったため、衛星ブロードバンド設備を希望者に貸与し、インターネットが利用可能な環境としている。</p>					
BB	サービス開始日	平成23年4月1日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	西日本電信電話株式会社高知支店			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	H23年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	7,187	7,187	6,471	6,435
	加入世帯数	2,207	2,300	1,900	2,176
	加入率(%)	30.708223	32.002226	29.36176789	33.81507382
CATV	サービス開始日				
	サービス形態				
	契約先				
		④整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	H23年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数				
	加入世帯数				
	加入率(%)				
評価及び課題	<p>企業団地や移転企業からの加入申請も多く、企業誘致の面では光ケーブルが敷設されていることがかなり有利に働いている。IRUエリア内でICT関連企業が多く集まる南国市オフィスパークセンターの入居率も90%を超えて推移している。個人加入については、当初加入していた世帯で、利用中止がかなり発生している。南国市では、光サービス利用を取りやめた世帯については加入者としてカウントしないため、当初の加入者から減少しているが、実際は年間130件から150件の新規加入申し込みがある。今後も年間100件程度の増加があると思われる。</p> <p>対象世帯数が減少したことで、加入率については目標値はほぼ達成しているが、設備としてはまだ加入者増には対応可能。ただし、上限はあるため、今後も同じペースで加入者が増加した場合は、数年で新規のサービス提供ができなくなる恐れがある。</p>				